

教育研究実績票

教員氏名	職位（実務家教員の場合（実務家）と記入）	
三輪 建二	教授	
担当授業科目（過去5年間に担当した科目）		
教育原理（初等）、教育原理（中等）、教育学概論、生涯学習論（以上 共生科学部） 専門職者としての職能開発、生涯学習特論、プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ、教育実地演習、教育実践研究（オムニバス） （以上、大学院教育実践研究科） 共生教育研究、共生教育特別演習、研究方法論Ⅱ（以上大学院教育学研究科、令和2年度1年間） 教育実践講究Ⅰ、研究方法特別演習Ⅲ、博士課程（以上、教育学研究科博士後期課程）		
研究業績あるいは実務経験について（過去5年間）		
教育研究業績	年月	概要
1 著書（翻訳書を含む）		
① 『おとなの学びとは何か：学び合いの共生社会』	2018年3月	単著。生涯学習教科書として作成。2020年に増補版を出版した。生涯学習論（共生科学部）、生涯学習特論（教育実践研究科）教科書に使用（鳳書房）。
② I・ラシュトン、M・スター（三輪訳）『教師の省察的実践：学校教育と生涯学習』	2018年4月	学校分野と生涯学習分野の教師の省察的実践を豊富な事例を用いて紹介したもの。生涯学習特論（教育実践研究科）の参考図書に指定（鳳書房）。
③ N&K・アップルヤード（三輪訳）『教師の能力開発：省察とアクションリサーチ』	2018年10月	英国高等教育機関で学ぶ教員院生を対象に能力開発でのポイントを解説したもの。生涯学習特論（教育実践研究科）の参考図書に指定（鳳書房）。
④ S・ウォレス（三輪訳）『教師がまとめる研究論文：量的研究・質的研究・アクションリサーチ』	2020年10月	英国高等教育機関で学ぶ教員院生の研究論文指導の要点を、事例をもとに解説したもの。研究方法論Ⅱ（教育学研究科）テキストに指定（鳳書房）。
⑤ 『社会人院生の研究論文と論文指導（報告書）』	2021年2月	単著。科学研究費基盤研究（一般・C）『「経験省察型」卒業論文・修士論文指導モデルの開発研究』（平成30年から3年間）研究成果を報告書としてまとめたものである（学振の科研費報告に添付）。
2 学術論文		
① 「成人教育学と看護教育：成人学習者への学習支援論」	2018年3月	単著。成人学習論への関心の高まりをもとに、成人学習論・教育学の看護教育への架橋を試みた研究論文（依頼論文）である（『上智大学大学院看護学科紀要』第3巻第1号、pp.3-13）。
② A Study about the Instruction for Master Thesis and Research Papers for “Experience Reflection” in Graduate Schools in Japan	2020年2月	単著（英文）。大学院修士課程における「経験省察」方の実践研究論文の特徴とその指導のポイントをまとめたもので、依頼論文である（Revista Brasileira de Pesquisa (Ed.). <i>Biografica</i> . 12(4), pp. 893-902)
実務経験	年月	概要
1 共同研究、調査研究等		
① 教育実践研究と教育修士（専門職）に関する共同研究	2018年6月より1年間	大野研究科長を研究代表者、研究科全教職員が研究分担者の平成30（2018）年度学内共同研究。
② 教育実践研究のカリキュラム開発と評価に関する研究	2019年6月から1年間 年月	大野精一研究科長を研究代表者とし教育実践研究科全教職員を研究分担者とする平成31（2019）年度学内共同研究である。前年度の継続研究である。
③ 第1回星槎ラウンドテーブルの企画・実施	2020年8月 23日	教育学研究科（修士課程・博士課程）、教育実践研究科の院生の相互交流を目的に院生有志が企画し、8月23日に実施した。三輪は顧問であった。